

Topics of the Month

“勉強” じゃなく “経験” としての英語

こんにちは、ビバイ代表の迫田です。英語と聞くと、どうしても「単語を覚える」「文法を理解する」という“勉強”のイメージが強いですね。けれども、子どもにとっての英語は、もっと身体的で感覚的な「経験」に近いものだとも私たちは考えています。たとえば「好きな先生と英語でやりとりできた」「通じた！と感じた」という体験は、それだけで十分に意味のある学びになります。理屈や正解に縛られすぎず、「使ってみる」「聞いてみる」を重ねることが、自然な習得につながります。これからも引き続き、お子さまが“英語を使う喜び”を感じられるレッスンを、スタッフ一同お届けしてまいります。

Staff introduction

Aline Monteiro

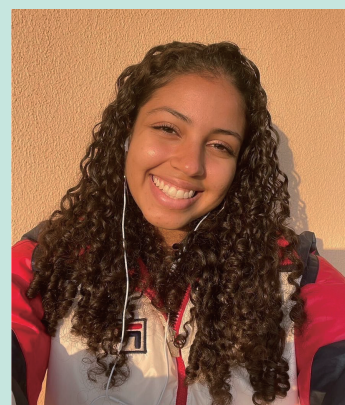
<名前> アリーネ モンテイロ (Aline Monteiro)

<大学名> 東京外国語大学大学院

<海外歴> ブラジル出身で、ブラジルですべて英語を学んでいました。イギリスにも交換留学で行っていました。

<保有資格> IELTS 8

<コメント> 私は子どもと関わるのが大好きで、これまでに3つの英会話スクールで勤務してまいりました。また、The American School in Japan のサマーキャンプでも勤務経験があります。子どもたちと共に学ぶことに大きな喜びを感じており、その成長の速さには日々驚かされます。英語を楽しく学べる環境づくりを大切にしながら、一人ひとりの成長を丁寧にサポートしていきたいと考えています。



Staff diary

梅雨真っ只中ですが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。昨年のスタッフダイアリーでは、「梅雨を英語でどう表現するか」や「梅雨を知らない外国人にどのように説明すればよいか」をテーマにお届けしました。

今回はふと、「そもそも海外にも梅雨はあるのだろうか？」という素朴な疑問から、調べてみることにしました。実は、「梅雨」と呼ばれる現象があるのは東アジアの国々だけなのだそうです。具体的には、日本をはじめ、韓国、北朝鮮、中国、台湾などが該当します。その理由は、梅雨の原因となる【梅雨前線】が非常に長く、日本上空にとどまらず、近隣の国々の上空まで達しているためだとか。

「梅雨」という言葉や季節は東アジア特有のものですが、世界には「雨季」として広く見られる時期が存在しています。その定義を調べてみると、なかなか興味深い発見がありました。

世界は本当に広いですね。ぜひお子さまと一緒に、世界の「雨季」について調べてみてください！